

『リベラルアーツ学群プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から専門科目の履修が本格的に始まります。この履修モデル集は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集されたものです。

履修モデル集は、各プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望するプログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にし履修を行って下さい。
- ・とくに、プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを例として示したものです。各プログラムを修了するためにはメジャー32単位、マイナー16単位の科目を修得することが必要ですが、どのプログラムもそれをはるかに上回る数の科目を提供しており、みなさんがその専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたテーマの例にそったカリキュラムを示したものです。
- ・各プログラムの「履修モデル」ページには、そのプログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・「その他の推奨科目」には、そのプログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には32のプログラムがありますが、この冊子には、各プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心あるプログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成されたものであり、モデルのとおり履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが Independent Learner として、自分の関心と視点に立って独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、などさまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

リベラルアーツ学群教員一同

歴史学プログラム

履修のしかた

歴史学プログラムの専門科目は、＜導入と理論＞、＜歴史学の方法＞、＜グローバル社会と歴史＞という3つのカテゴリーに分類されています。1年次では専門基礎科目の中から、「歴史学の学びと方法」を学修するとよいでしょう。また、＜導入と理論＞からも「歴史史料を読む」や「世界史」と「日本史」の概論科目を履修することができます(メジャーは 6 単位。マイナーは 4 単位)。2年次からは、＜歴史学の方法＞の専門科目が履修できるようになり、各地域の歴史について学びます(メジャーは 12 単位、マイナーは 6 単位)。それと同時に＜グローバル社会と歴史＞から、より具体的なトピックに焦点をあてた専門科目(国際関係や文化、思想など)を履修します(メジャーは 14 単位、マイナーは 6 単位)。さらに、専門的な歴史のトピックを追究したい人は、3年次からの「専攻演習」を履修した後に、4年次には「卒業論文」として自分の研究をまとめることができます。

他のプログラムとの関係

歴史学の場合、特定の地域に焦点を当てて学ぶことが多いので、地域研究の3つのプログラム(アメリカ、アジア、日本)と関連性をもたせて科目を履修することも可能です。また、人類学と歴史学も互いに関係の深い分野ですので、文化人類学プログラムについても、同じことが言えます。

一般的にいて、歴史学は非常に幅の広い分野ですから、上記のものに限らず、多くのプログラムの専門科目が役に立ちます。自分の興味に従って、分野を問わず、自由に履修してみてください。教員は、いつでも相談に乗ります。

留学・教職その他

教職に関しては、中学校の社会科および高校の地理歴史科の教職課程において必要となる科目(たとえば、「世界史」と「日本史」の概論科目など)が、本プログラムのカリキュラムに含まれていますので、上記の教職課程履修者にとって、歴史学プログラムは、負担が比較的軽いものになるでしょう。

学生へのメッセージ

「歴史とは過去について学ぶこと」ですが、「過去について学んでいる私たち自身は、現在を生活している」わけです。歴史を学ぶことは、実は、「現在」を考えることでもあるのです。私たちの周りで起きていることの原因や意味を、過去にさかのぼって探り、現在の私たちが「当たり前」と思っていることが、過去においてもそうだったのかどうかを知ろうとする姿勢が大切であると考えます。本プログラムでは、その名前の通り、歴史について考える場を提供するとともに、過去や現在の社会状況に対する、さまざまな好奇心を育みたいと思っています。過去の人々が残した多様な歴史史料に向かうと、自分の思い込みや価値観が崩されることもあれば、同じ史料を自分の視点から解釈することもできます。そのような史料との対話のなかから、ひとつの歴史イメージが作られ、それをめぐる議論が生じる。その議論こそが、現在の自分を見つめ直すという、歴史学の重要な作業なのです。

歴史学プログラム

1 国際関係・履修モデル

この履修モデルでは、歴史学の視点から国際関係を学ぶことを目的としています。履修する学生の皆さんにとって、興味関心のある地域や国、時代はまちまちでしょうが、歴史学の方法論により国際関係の総体を理解しようとする履修モデルです。なお、学習にあたっては、リベラルアーツ学群の学びの特徴を活かし、歴史学プログラム以外のプログラムの科目を積極的に利用することを勧めます。

歴史学プログラム科目

level	100			200			300			400		
カテゴリ	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入と理論	○	歴史史料を読む	2									
	○	世界史概論A	2									
	○	世界史概論B	2									
		日本史概論A	2									
	○	日本史概論B	2									
歴史学の方法					日本の歴史ⅠA	2		北東アジアの歴史	2			
					日本の歴史ⅠB	2		中東近現代史	2			
					日本の歴史ⅡA	2						
					日本の歴史ⅡB	2						
					アメリカの歴史A	2						
					アメリカの歴史B	2						
				○	イギリスの歴史A	2						
				○	イギリスの歴史B	2						
					アジアの歴史ⅠA	2						
					アジアの歴史ⅠB	2						
グローバル社会と歴史				○	アジアの歴史ⅡA	2						
					アジアの歴史ⅡB	2						
				○	国際関係史A	2		日本思想史A	2			
				○	国際関係史B	2		日本思想史B	2			
								アメリカ思想史A	2			
								アメリカ思想史B	2			
								アメリカ政治史	2			
								アメリカ外交史	2			
								日韓交流史	2			
								日中交流史	2			
								日米交流史A	2			
								日米交流史B	2			

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・歴史学の学びと方法〔2〕
- ・国際関係論〔2〕
- ・政治学基礎〔2〕
- ・国際政治学〔2〕

歴史学プログラム

2 日米の思想と交流・履修モデル

この履修モデルは、日本とアメリカ合衆国の歴史を概観しつつ、両地域の思想と交流に焦点を当てて比較検討したい人にお勧めです。

歴史学プログラム科目

level	100			200			300			400		
カテゴリ	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入と理論	○	歴史史料を読む	2									
	○	世界史概論A	2									
		世界史概論B	2									
		日本史概論A	2									
	○	日本史概論B	2									
歴史学の方法					日本の歴史ⅠA	2		北東アジアの歴史	2			
					日本の歴史ⅠB	2		中東近現代史	2			
					日本の歴史ⅡA	2						
				○	日本の歴史ⅡB	2						
				○	アメリカの歴史A	2						
				○	アメリカの歴史B	2						
					イギリスの歴史A	2						
					イギリスの歴史B	2						
					アジアの歴史ⅠA	2						
					アジアの歴史ⅠB	2						
グローバル史・社会と歴史					アジアの歴史ⅡA	2						
					アジアの歴史ⅡB	2						
					国際関係史A	2		日本思想史A	2			
					国際関係史B	2	○	日本思想史B	2			
								アメリカ思想史A	2			
								アメリカ思想史B	2			
								アメリカ政治史	2			
								アメリカ外交史	2			
								○ 日米交流史A	2			
								○ 日米交流史B	2			

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

・歴史学の学びと方法〔2〕

歴史学プログラム

3 東アジアの歴史・履修モデル

この履修モデルでは、東アジアの歴史を広い視野にたって学習できるように考えています。学習にあたっては、専門基礎科目の「歴史学の学びと方法」などから順に進めていくとよいでしょう。科目の組み合わせによって、一人ひとりの興味・関心にあった歴史学習が可能になるはずです。自由な発想で考えてみてほしいと思います。なお、歴史学プログラム以外のプログラムの科目の利用もお勧めします。

歴史学プログラム科目

level	100			200			300			400		
カテゴリ	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入と理論	○	歴史史料を読む	2									
	○	世界史概論A	2									
		世界史概論B	2									
		日本史概論A	2									
		日本史概論B	2									
歴史学の方法					日本の歴史ⅠA	2	○	北東アジアの歴史	2			
					日本の歴史ⅠB	2	○	中東近現代史	2			
				○	日本の歴史ⅡA	2						
				○	日本の歴史ⅡB	2						
					アメリカの歴史A	2						
					アメリカの歴史B	2						
					イギリスの歴史A	2						
					イギリスの歴史B	2						
				○	アジアの歴史ⅠA	2						
				○	アジアの歴史ⅠB	2						
グローバル史・社会と歴史				○	アジアの歴史ⅡA	2						
				○	アジアの歴史ⅡB	2						
					国際関係史A	2		日本思想史A	2			
					国際関係史B	2		日本思想史B	2			
								アメリカ思想史A	2			
								アメリカ思想史B	2			
							○	日韓交流史	2			
							○	日中交流史	2			
								日米交流史A	2			
								日米交流史B	2			

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・歴史学の学びと方法〔2〕
- ・中国文化論〔4〕
- ・韓国文化論〔2〕

歴史学プログラム

4 日本の歴史・履修モデル

この履修モデルは、日本の歴史(自国史)の相対化をめざし、東アジアや米国などの他地域と比較しながら自国史を考えることを目的としています。「国民国家」の枠をこえた歴史の見方を身につけることは、将来の日本及び世界を考えるうえで助けになるものと思います。なお、学習にあたっては、リベラルアーツ学群の学びの特徴を活かし、歴史学プログラム以外のプログラムの科目を積極的に利用することを勧めます。

歴史学プログラム科目

level	100			200			300			400		
カテゴリ	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入と理論	○	歴史史料を読む	2									
		世界史概論A	2									
		世界史概論B	2									
	○	日本史概論A	2									
	○	日本史概論B	2									
歴史学の方法				○	日本の歴史ⅠA	2		北東アジアの歴史	2			
				○	日本の歴史ⅠB	2		中東近現代史	2			
				○	日本の歴史ⅡA	2						
				○	日本の歴史ⅡB	2						
					アメリカの歴史A	2						
					アメリカの歴史B	2						
					イギリスの歴史A	2						
					イギリスの歴史B	2						
					アジアの歴史ⅠA	2						
					アジアの歴史ⅠB	2						
グローバル史・社会と歴史					アジアの歴史ⅡA	2						
					アジアの歴史ⅡB	2						
					国際関係史A	2		日本思想史A	2			
					国際関係史B	2		日本思想史B	2			
								アメリカ思想史A	2			
								アメリカ思想史B	2			
								○ 日韓交流史	2			
								○ 日中交流史	2			
								○ 日米交流史A	2			
								○ 日米交流史B	2			

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・歴史学の学びと方法〔2〕
- ・日本国憲法〔2〕
- ・日本研究概論〔2〕
- ・近代日本の政治と外交〔2〕